

実施した取組

1. 関西各地の「人形浄瑠璃」取組参加団体(44団体)をネットワーク化

取組参加団体が実施する各取組を「はなやか関西」のプロモーションで紹介するとともに、有志の団体も参画する実行委員会を組成し、取組内容の検討及び意見交換

2. コア事業(財)徳島県文化振興財団が実施)

「自立した取組の推進」「事務局の負担軽減」の観点からコア事業体制を試行

- ①第15回阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル
【平成24年9月29日(土)～30日(日)】
- ②全国人形芝居フェスティバル
【平成24年10月20日(土)～21日(日)】



3. 実行委員会が実施する取組

- ①「人形浄瑠璃」フォーラム【平成24年10月6日(土)】
- ②「人形浄瑠璃」ツアー(全4回)
 - ・淡路人形座復活演目の観劇会【平成24年11月1日(木)】
 - ・犬飼農村舞台鑑賞と阿波の木偶に触れる旅【平成24年11月3日(土)】
 - ・文楽ゆかりの地めぐり・文楽鑑賞の旅【平成25年1月14日(月・祝)】
 - ・留学生モニターバスツアー(長浜市)【平成25年3月6日(水)】
- ③プロモーション事業
 - ・ホームページ上での情報発信
 - ・「人形浄瑠璃」公式ガイドブック・リーフレットの作成・配付
 - ・「人形浄瑠璃」公式Facebookによる情報発信
 - ・具体の取組にかかるチラシの作成・配付
- ④「人形浄瑠璃」タイアッププログラム



効果の把握と課題の抽出

1. 「はなやか関西～文化首都年～」及び取組参加団体の活動の認知度向上

- ①公式ガイドブック作成
- ②リーフレット作成
- ③公式Facebookの開設
- ④「人形浄瑠璃」フォーラムの実施

人形浄瑠璃及び各取組参加団体の活動に対する認知度向上等に一定の成果も、「はなやか関西～文化首都年～」の取組はまだまだ知られておらず、今まで以上にプロモーション事業に注力していく必要あり。

2. 地域振興・経済波及効果

- ⑤学生会議の実施
- ⑥有料ツアーの実施

新しい視点等による人形浄瑠璃ニーズの掘り起こしや地域への経済波及、人形浄瑠璃ファンの増加等に一定の成果も、ツアーについては必ずしも参加者が十分ではなく、いかに費用を抑えながら魅力的なツアーを造成できるか今後検討が必要。

3. インバウンド観光

- ⑦領事館フォーラム等とのタイアップ
- ⑧留学生ツアーの実施

タイアッププログラムやモニターバスツアーによりインバウンド効果・外国人の人形浄瑠璃ファンの創造に一定の効果も、広く国外にPRする取組になっていない。

4. 効果と課題の総括

- それぞれのテーマについて、一定の成果
- 今後、「はなやか関西」のムーブメント拡大のためには、
 - ①認知度向上のためのプロモーション事業の強化、②より魅力的なツアーのあり方の検討、③学生の参画拡大に向けた企画の工夫、④インバウンド観光に向けた取組の拡大等について検討が必要。

次年度以降の展開方策

1. 次年度以降の展開方策について

- ①基本的な考え方
 - 「はなやか関西～文化首都年～」の取組は意義があるとの意見が大半
 - できることを着実に積み上げ実績を残す

2. 今年度の効果と課題を踏まえた具体的な取組方針について

- ①「はなやか関西～文化首都年～」の認知度向上に向けて
 - アドバイザー体制の継続・拡充
 - 公式Facebookの継続
 - 関係機関の参加促進
 - 各地域の取組団体への積極的アプローチ
- ②地域振興・経済波及効果の強化に向けて
 - 学生の参加促進
 - 民間の参加促進
- ③インバウンド観光の強化に向けて

3. 「人形浄瑠璃」(2012年度)の継承について

- 「人形浄瑠璃街道連絡協議会」に、持続可能な形で取組参加団体のネットワークを継承する